

4 職員研修の実施

4 職員研修の実施

本章では、中頓別町役場の若手職員で結成されたワーキンググループ（以下、WG）メンバーによる職員研修について記述する。

4-1 職員研修の流れ

令和元年度は、まず中頓別町役場の各課職員へヒアリング調査を実施した。その後、若手職員で結成された WG メンバーによる職員研修を 3 回、チームごとの相談会を 1 回実施し、中頓別町の魅力や資源を再発見するための町民インタビューを実施した。その様子を映像にまとめ、町民を招待して発表会を行った。職員研修の流れは図 6 に示した通りである。

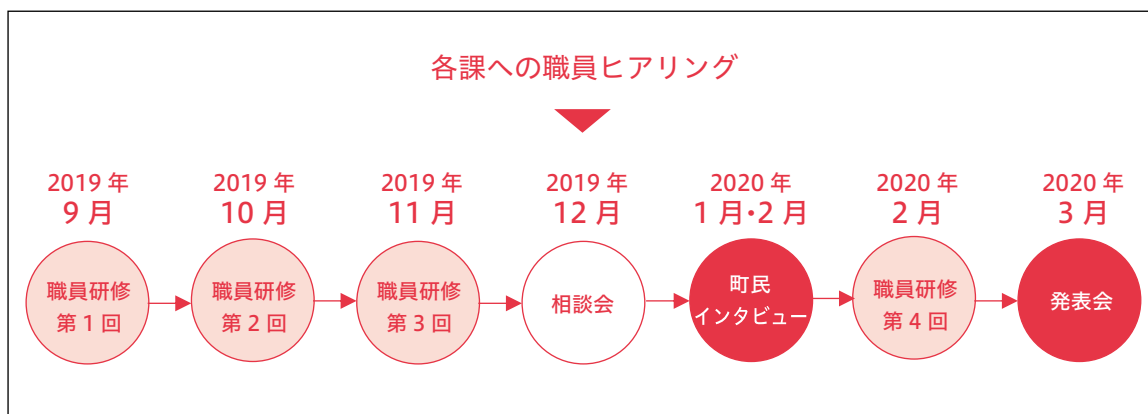


図 6. 職員研修の流れ

4-2 職員ヒアリング

令和元年 8 月 8～9 日の 2 日間に中頓別町役場の各課職員、計 26 人へヒアリング調査を実施し、現在の施策体系に関わる取り組みを聞いた。ヒアリング対象者および調査により把握した各課の状況を以下にまとめる。

4-2-1 職員ヒアリングの内容

令和元年度に実施したヒアリング調査の実施日とヒアリング調査の対象課及び対応人数は表 15 に示した通りである。

表 15. 職員ヒアリングの実施日と対象課

実施日	ヒアリング対象	人数
令和元年 8 月 8 日（木）	町長室	1 人
	自動車学校	1 人
	消防	3 人
	産業課	5 人
令和元年 8 月 9 日（金）	保健福祉課	2 人
	建設課	2 人
	教育委員会	2 人
	総務課総務グループ	2 人
	総務課住民グループ	1 人
	認定こども園	3 人
	国保病院	2 人
	総務課政策経営室	2 人

4-2-2 意見のまとめ

各課職員 25 人へのヒアリング調査から把握した現在の施策体系に関わる取り組み（表 16）と意見及び課題（表 17）について一覧にまとめた。

表 16. 職員ヒアリングから把握した取り組み

テーマ	取り組み
消防	・消防車両更新・整備事業を第 7 期で進めた。 ・消防学校等派遣事業として江別の消防学校や、浜頓別と連携。 ・応急手当普及事業として応急手当を普及する活動をしている。
酪農	・労働力の不足により、子牛を育てるなど外部委託化を進める。 ・6 次産業化ではじめたなかとん牛乳や他製品を軌道にのせる方針。 ・2018 年度からはワイン用のブドウの試験栽培を始めた。 ・現在の酪農戸数 30 戸中、約 20 戸は後継者がいるため、この 10～20 年のうちに生産力をあげる必要がある。 ・8 月の下旬から 9 月の上旬に酪農祭を開催している。
観光	・ピンネシリを観光の拠点とし、地域活性化のため組織をつくった。観光振興計画として温泉、コテージ、農業体験交流施設の運営管理をまとめた。
建設	・ストックマネジメント計画で水道更新事業を実施中。 ・公営住宅の長寿命化計画と住生活基本計画を 10 年計画で策定中。（第 8 期にもからんでくる。）
教育	・こども園の外国語教育と中学のハワイホームステイを継続。 ・小中学校の今後の方針検討。 ・働き方改革の導入。 ・町民センター内部の充実化を進める。
こども園	・高齢者施設との交流。 ・英語教育。 ・月 2 回の森のこども園。
保健福祉	・名寄の精神科医と計画をつくり、自殺対策事業を進めている。 ・地域福祉計画として「なかとんべつけんこう 21」を策定し、介護予防に力をいれている。フレイル対策を行い、重度化しないようにサポートしている。
医療	・2018 年度から第 4 次病院改革プランをスタート。急性期病院としての機能だけでなく、回復期の病院としてもやっていく方向に移行。
そのほか	・地域防災計画の見直し。 ・粗大ごみ抑制のためリユース事業を実践。欲しい人といらない人マッチングを図っているが年 1～2 件の成立件数。 ・地方創生事業としてシェアリングエコノミーの推進。 ・ファミリーサポートの推進。 ・民泊と空きスペース活用の推進。 ・業種を超えた交流の場の創出。 ・婚活イベントの実践。 ・2006 年度より移住施策としてお試し暮らし事業を継続。

表 17. 職員ヒアリングから把握した意見及び課題

テーマ	意見及び課題
転出	・ 60～75 歳以降の転出が多い。
酪農	・ 高齢化によって農家が減少している。
商工	・ 町内商店の後継者調査は実施していない。 ・ 後継者不足が課題。
交通	・ 自動車学校での高齢者講習で、認知機能検査によって免許停止になることがある。交通機関が少ないため免許を停止にすると困る高齢者が多い。
職場環境	・ 町営自動車学校については、働いている人の処遇が改善されていくと働き手も確保しやすい。
消防	・ 消防団員の確保が困難。役場職員が 2 割ほど入っているが、実際に災害があると役場職員は他の業務があって災害活動に参加できないことが課題である。
林業	・ まちの第 2 の産業として林業を進めたいが、切り出して販売することができていない。地元での使い方の幅を広げたいが、加工施設が少ないという大きな壁がある。
建設	・ 小中学校の改修が直近の課題。 ・ 空き家は 2 割程度。 ・ 閉店した松田商店の活用。
教育	・ 保育士不足。

4-3 職員研修の内容

令和元年度に実施した職員研修の具体的な内容について記述する。なお、職員研修の実施日と参加人数は表 18 に示した通りである。

表 18. 職員研修の実施日と参加人数

	実施日	参加人数
職員研修 第 1 回	令和元年 9 月 27 日	8 人 (WG メンバー)
職員研修 第 2 回	令和元年 10 月 11 日	12 人 (WG メンバー)
職員研修 第 3 回	令和元年 11 月 29 日	13 人 (WG メンバー)
相談会	令和元年 12 月 18・19 日	12 人 (WG メンバー)
町民インタビュー	令和 2 年 1 月 17~20 日, 2 月 4~9 日	25 人 (町民) , 14 人 (WG メンバー)
職員研修 第 4 回	令和 2 年 2 月 7 日	12 人 (WG メンバー)
発表会	令和 2 年 3 月 25 日	75 人 (町民・WG メンバー含む)

4-3-1 職員研修第1回

令和元年9月27日に、中頓別町役場職員研修第1回を開催した。各課から合計8人の職員が参加した。職員研修第1回では、総合計画策定の流れの説明に主眼を置くとともに、町民のコミュニティをテーマ別で整理した。

○開催概要

- ・日時：令和元年9月27日（金） 15：30～17：30
- ・会場：中頓別町役場会議室
- ・参加人数：8人

○プログラム

- ・自己紹介&studio-Lの紹介
- ・総合計画策定に向けた流れの説明
- ・アイスブレイク「イエス・アンド」
- ・ワーク「コミュニティのテーマ別整理」



趣旨説明



計画策定の進め方についての説明



ペアで【イエス・アンド】



テーマ別で整理したコミュニティの発表

【資料：職員研修第1回ニュースレター】

中頓別町 第8期総合計画策定事業

時間 15:30～17:30 / 場所 役場会議室 / 参加人数 8名



Nakatonbetsu

職員研修 01

2019.09.27 Fri



プログラム



- ① はじめに
- ② 自己紹介 & studio-Lについて
- ③ 総合計画策定に向けた流れ
- ④ 住民参加プロジェクトの基本のき
「イエス・アンド」
- ⑤ 今後の進め方
- ⑥ ワーク
「コミュニティのテーマ別整理」
- ⑦ まとめ

総合計画とは？



総合計画は地域づくりの最上位に位置づけられる計画であり、中頓別町では第8期の計画策定に向けて地域住民と協働して計画づくりを進めていきます。

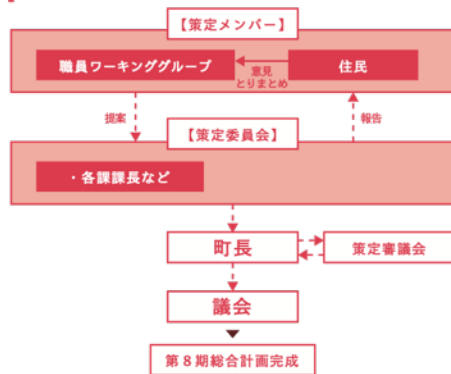
地方自治体の多くは、まちづくりの基本的な理念などを定める基本構想、具体的な施策を示す基本計画、具体的な事業を示す実施計画などからなる「総合計画」を策定し、これにもとづいて行政運営を行います。地方自治体のすべての計画の基本となり、地域の将来像や体制、プログラム等が記述されます。

総合計画策定に向けた流れ



冊子ではなく
動画
でつくろう！

ワーキンググループの位置付け



ワーキンググループメンバーは、町民と協働して進めるワークショップでテーブルファシリテーターを担います。また、ワーキンググループを設置することで各課連携を図るためのチームづくりを目的としています。



Yes, and でうまくいく！

相手のアイデアに対して「Yes! (いいね!)」「And(さらに●●するのはどう?)」と上乗せしてアイデアを膨らませる手法のこと。相手の意見をまず受け入れ、さらに良くすることを心がけると、場の雰囲気やメンバーの姿勢がポジティブになります。アイデアの引き出しを持っていることも大事です。



見てほしい作品



コミュニティデザイン
入門編



コミュニティデザイン
深まる編



Nakatonbetsu

次回の予定日.....10月11日(金)

「Yes, and」
って、なんだ!?

ドキドキ...

今回皆さんに
集まっていたいたのは
.....

ドキドキ...

!

まずはじめに
「Yes, and」を
やりましょう!

!!

!

ペアを組んで
誘う方はとにかく相手を誘い、
誘われる方は誘い返ししましょう。

今夜ご飯に
行きませんか?

“and”を意識...

ガヤガヤ...

今日も明日も
行けるよ!

わいわい....

いいね〜
お酒も飲もうよ

あれ...
なんか嬉しいかも

わいわい

その後のワークの様子

教育関係の分野には
こんな方がいますよ!

それは心強い!
心強いといえば医療分野には...

いいですね〜!

全体像が
見えてきましたね

なごやがで楽しそう!

発表タイム!

Yes, and で
肯定されると
安心して話せる!

and を足して
楽しく話そう!

4-3-2 職員研修第2回

令和元年10月11日に、中頓別町役場職員研修第2回を開催した。各課から合計12人の職員が参加した。職員研修第2回では、studio-Lが実施した町民ヒアリングから見えてきた「中頓別町の魅力と課題」を紹介するとともに、インタビュー対象者を決めた。

○開催概要

- ・日時：令和元年10月11日（金） 15：30～17：30
- ・会場：中頓別町役場会議室
- ・参加人数：12人

○プログラム

- ・第1回のふりかえり
- ・ヒアリング調査から見えてきた「中頓別町の魅力と課題」紹介
- ・アイスブレイク「ボルトスゲーム」
- ・ワーク「インタビュー対象者を決めよう」



第1回のふりかえり



アイスブレイク【ボルトスゲーム】



インタビュー対象者の選定



studio-L 西上による講評

【資料：職員研修第2回ニュースレター】



中頓別町 第8期総合計画策定事業

時間 15:30～17:30 / 場所 役場会議室 / 参加人数 12名

Nakatonbetsu

職員研修 02

2019.10.11 Fri



プログラム



- ① ふりかえり
- ② アイスブレイク
「ボルトスゲーム」
- ③ 総合計画策定に向けた流れ
- ④ ヒアリングで見えてきたこと
- ⑤ ワーク
「インタビュー対象者を決めよう」

総合計画とは？



総合計画は地域づくりの最上位に位置づけられる計画であり、中頓別町では第8期の計画策定に向けて地域住民と協働して計画づくりを進めていきます。

地方自治体の多くは、まちづくりの基本的な理念などを定める基本構想、具体的な施策を示す基本計画、具体的な事業を示す実施計画などからなる「総合計画」を策定し、これにもとづいて行政運営を行います。地方自治体のすべての計画の基本となり、地域の将来像や体制、プログラム等が記述されます。

総合計画策定に向けた流れ



冊子ではなく
動画
でつくる！

ボールトスゲーム

アイデア出しをするために、前回学んだ「イエス・アンド」を発展させた「ボールトスゲーム」を行いました。ボールを持っている人は、楽しくなるアイデアを言って誰かにボールを投げ、受け取った人は別のアイデアを付け加えて誰かにボールを投げるゲームです。

お題①
この後、ご飯
食べにいかない？

お題②
楽しい会議って
どんなの？



町民へのヒアリングで見てきたこと（中間報告！）

	外の目から見て ◎ほかのまちにはない魅力 ▲これがあればさらにいいと思う課題
環境	◎フィンランドっぽいオシャレな風景や環境 ◎エコで環境に優しい暮らし、自然と共生する生き方 ◎砂金、アンモナイト、鮭釣りなどの趣味を持つ生き方 ▲廃棄物、不用品、自然資源のカッコイイ循環
しごと（酪農、林業、商工）	◎既に多様な働き方がある（事業継承、IT在宅ワーク、Wワーク・副業、起業） ▲美味しいお店に後継者がいない ▲多様な働き方ができることが子供たちや親世代に伝わっている？
観光	◎まちの人が外国人に対して寛容で優しく、好奇心旺盛 ▲空き部屋や住まいもシェアできたら
生活環境（住まい、インフラ）	◎地域の高齢者が若い世代の移住者の暮らしをサポートしている ◎ライドシェアの取り組みが全国的にみても先進的
保健医療福祉	◎保健師さんたちの評判がとていい ◎まちなかに食堂と銭湯がある
安全安心	◎顔見知りの関係で治安もよく安心して暮らせる ▲お互いのことを知っているようで、実は暮らし方は深く知らない
子育て・教育	◎英語教育、自然教育 ◎未就学児のママのネットワーク ▲図書館が担うような本の充実や自由学習の場



インタビュー対象者を決めよう



- ・誰にインタビューする？
- ・どんなことを聞いてみたい？
どんなことをまちの人に知ってほしい？
- ・どんな話が聞けたらおもしろそう？
描いてみよう！
- ・誰に参加してもらいたい？誰を誘う？

今回の職員研修第3回は、実は知ってそうで知らなかった町民の方々はたらき方や暮らし方についてお話を伺いに行きます！

次回の予定日.....11月30日（土）

今日のドリンク



キウイやレモン、ブルーベリーなどの
フルーツを用意！

フルーツは何入れた？と
会話が弾む“モクテル”

モクテルとは、
ノンアルコールカクテルのことです。



4-3-3 職員研修第3回

令和元年11月29日に、中頓別町役場職員研修第3回を開催した。各課から合計13人の職員が参加した。職員研修第3回では、studio-Lが実施した町民ヒアリングから見えてきた「中頓別町の魅力」をマンガにしたものを紹介するとともに、チームに分かれてインタビューの練習を行った。

○開催概要

- ・日時：令和元年11月29日（金） 15：30～17：30
- ・会場：中頓別町役場会議室
- ・参加人数：13人

○プログラム

- ・第2回までのふりかえり
- ・「中頓別町の魅力」をまとめたマンガの感想共有
- ・レクチャー「リサーチの方法」
- ・ワーク「インタビューの練習」



中頓別の魅力をまとめたマンガの紹介



マンガの感想共有



チーム別に町民インタビューの作戦会議



町民インタビューの練習

【資料：職員研修第3回ニュースレター】



中頓別町 第8期総合計画策定事業

時間 15:30～17:15 / 場所 役場会議室 / 参加人数 13名

Nakatombetsu

職員研修 03

2019.11.29 Fri



プログラム



- ① ふりかえり
- ② チーム分け
- ③ 住民参加プロジェクトの基本のき
「イエス・アンド」
- ④ ヒアリングをまとめたマンガ
感想の共有
- ⑤ レクチャー 「リサーチの方法」
- ⑥ ワーク 「リサーチの練習」

総合計画とは？



総合計画は地域づくりの最上位に位置づけられる計画であり、中頓別町では第8期の計画策定に向けて地域住民と協働して計画づくりを進めていきます。

地方自治体の多くは、まちづくりの基本的な理念などを定める基本構想、具体的な施策を示す基本計画、具体的な事業を示す実施計画などからなる「総合計画」を策定し、これにもとづいて行政運営を行います。地方自治体のすべての計画の基本となり、地域の将来像や体制、プログラム等が記述されます。

再登場 Yes, and でうまくいく！

職員研修第1回でも練習したイエス・アンド。とても重要な手法なため、第3回でも再び2人1組で練習しました。相手のアイデアに対して「Yes! (いいね!)」「And (さらに●●するのはどう?)」と上乗せしてアイデアを膨らませるイエス・アンドを心がけると、場の雰囲気やメンバーの姿勢がポジティブになります。



ヒアリングをまとめたマンガ 感想の共有

今年の8月から実施してきた町民約50人へのヒアリングをもとに、このまちにしかない魅力をマンガ化にしました。各々の気づいたことやもっと聞いてみたいと思うことを共有すると、「子育て支援がこんなに充実しているとは知らなかった」「実際に中頓別に引っ越してきて、子どもがこども園に行くのを毎日楽しみにしている」といった意見がありました。自分の住むまちをマンガで見ると、新たな発見があることがわかりました。



ヒアリング調査のチーム分け

次回以降は、このチームに分かれて町民へヒアリングをします

● 自然・エコ

● 仕事づくり
住まい・交通

● 健康づくり
医療福祉

● 子育て・教育

リサーチの方法

今回はここ！

リサーチの目的
情報を集め、分析すること

机上で集める
(インターネット、書籍、計画書)

現場で集める
(写真、映像など)

人から集める
(ヒアリングなど)

人から集める
(ヒアリングなど)

・個人や団体に直接会い、活動や地域の現状、課題などについて話を聞く
・定点観測など、人の生活を記録し、話を聞くこともある

ヒアリング調査
を始める前に

① 時間を割いてもらった感謝の気持ちを伝える ② 必ず自己紹介をする ③ 緊張を緩和するために世間話から始める ④ ヒアリングを実施する

ヒアリングの
ポイント

答えやすい質問からはじめよう！ 質問のコツ＝「なぜ?」「どうして?」
なぜ、どうして、を使った質問は、相手の話を深掘りしていくことにもつながります。

共感の
さしすせそ

(さ) すごですね (し) らなかった (す) すごい (せ) っとくりよくありますね (そ) うなんですね

リサーチの練習

質問する人、答える人、スマホで撮影する人の3人1組で、次回のヒアリング調査をイメージして練習をしました。



次回の予定日.....1月17～20日

今日のおやつ

GRAMERCY
NEWYORK
グラマシー
ニューヨーク



「何等分にする?」「誰が切る?」そんな会話をしながらホールケーキを切り分けることで緊張がほぐれて、対面ワークもスムーズに!!



4-3-4 チーム相談会

令和元年 12 月 18、19 日に、中頓別町役場職員研修として町民へのインタビューの実施に向けてチーム相談会を開催した。各課から 4 チーム 12 人の職員が参加した。チーム相談会では、インタビュー対象者への質問事項や役割分担についてチームごとに話し合いを行った。

○開催概要

- ・ 日時：令和元年12月18日（水） 14：00～18：00、
12月19日（木） 10：30～11：30
- ・ 会場：中頓別町役場会議室
- ・ 参加人数：4チーム12人



自然・環境チーム



仕事・観光・産業チーム



健康・医療・福祉チーム



子育て・教育チーム

4-3-5 町民インタビュー

令和2年1月17～20日、2月4～9日の計10日間に、WGメンバーは町民25人へインタビューを実施した。

○開催概要

- ・日時：令和2年1月17～20日、2月4～9日 計10日
- ・WGメンバー：14人
- ・インタビュー対象者：25人



自然・環境チーム



仕事・観光・産業チーム



健康・医療・福祉チーム



子育て・教育チーム

4-3-6 職員研修第4回

令和2年2月7日に、中頓別町役場職員研修第4回を開催した。各課から合計12人の職員が参加した。チーム相談会後に実施した町民へのインタビューをまとめた動画を上映する発表会実施に向けて、発表会の内容や町民をどのように招待するかを話し合った。

○開催概要

- ・日時：令和元年2月7日（金） 15：30～17：30
- ・会場：中頓別町役場会議室
- ・参加人数：12人

○プログラム

- ・ワーク「どんな上映会にする？」
- ・ワーク「どうやって町民を招待する？」
- ・レクチャー「招待する上でのポイント」



上映会で準備するもののアイデア出し



上映会の内容を話し合う様子



招待する方法を話し合う様子



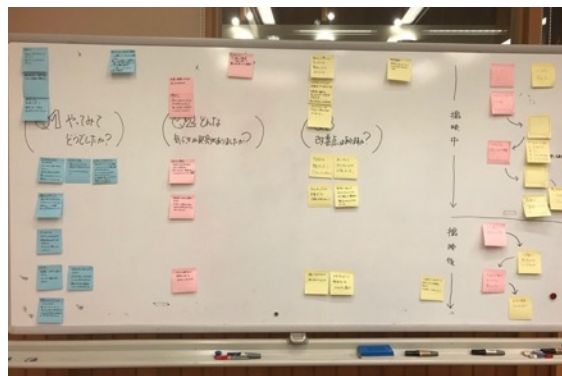
招待する上でのポイントの説明

4-4 職員研修で出た意見

令和2年1月17～20日2月4～9日に実施した町民へのインタビューを行なったあと、役場へ戻り各チームでインタビューのふりかえりを行った。そのふりかえりから「資源・魅力・よかったこと」（表19）と「課題だと感じたこと」（表20）をまとめた。



インタビュー後のふりかえりの様子



インタビュー後の意見集約

表 19.インタビューを通して資源・魅力・よかったこと

大項目	小項目	資源・魅力・よかったこと				
中頓別町に関わること	環境	風景がきれい	資源が多い			
	しごと	自ら環境をつくり、柔軟な働き方を実現しながら豊かな人生を送っている	仕事がライフワークの一部となっている働き方が魅力	時代によってビジネスを変えることができる	町外にも目を向け、中頓別町での就業を長い目で考えている	人間の生活を守るための狩猟がしごとになっている
	生活環境	少ない人口だからこそ良いという考え方がある	寛容性があり、受け入れるまちである	相手を尊重し、ライフスタイルを押し付けない		
	子育て・教育	中頓別は人が優しく育てやすい	転入した家族でも相談できる場があることが魅力			
対象者の生き方		90年の人生を、時代によってビジネスを変えながら生き抜いてきた	知識が深い	専門性があり、話しが上手で熱い	自ら動いてまちを変えようとしている	ビジョンがあり、しっかりしている

表 20.インタビューを通して課題だと感じたこと

大項目	小項目	課題だと感じたこと		
中頓別町に関わること	しごと	子どもに林業が産業と認識されていない	森は細やかな手入れが必要	担い手不足を高校生に向けて発信し続けることが必要。
	生活環境	公園が遠く、子どもたちが安全に外で遊べる場所が少ない		
	子育て・教育	こども園とひよっこクラブの両立の必要性	塾や習い事ができる環境が少ない	

4-5 発表会の実施

令和2年3月25日に、中頓別町役場職員研修で記録した町民へのインタビュー動画を町民の方々に見てもらうための上映会を開催した。合計75名が参加した。

○開催概要

- ・タイトル：なかとんおしゃべり上映会
- ・日時：令和2年3月25日（水） 18：30～20：00
- ・会場：中頓別町役場会議室
- ・参加人数：75名
（内訳）町民49名（うち幼児7名、小学生2名、中学生1名、高校生1名）
役場職員9名（町長、副町長、各課の管理職）
研修参加職員9名
政策経営室5名
studio-Lスタッフ3名



町長あいさつ



鑑賞する様子



研修に参加した職員



studio-L 山崎によるレクチャー

4-6 まとめ

本章では中頓別町役場のWGメンバーによる職員研修について記載した。上映会に出席した参加者の主な感想・意見を以下にまとめる。町内に住む人の顔や名前は知っていても、どのような仕事をしているか詳しくは知らなかった、自分のしていることを楽しみに変えていくことができれば中頓別町で生きていくことが誇りになると思うといった意見を得ることができた。町民みんなで中頓別町の未来を自分たちでつくる機運をつくりだすことが求められる。

■上映会参加者の感想（抜粋）

- ・最後の表を自分に当てはめて今後を考えてみたいと思いました。自分だけでなく、職場でもこの表に当てはめて、どう仕事をしていきたいか見つめられるきっかけにもなるのではないかなとも思いました。
- ・他の方々のインタビューを見て、ただの田舎だと思っていた中頓別がなんだか少しステキな町に感じました。
- ・町にどんな人がいて、どんなことをしているのか分かって楽しかった。
- ・今、自分のしていることを“楽しみ”に変えていく、みんながそうできれば素晴らしいし、中頓別でいきっていくことが誇りになると思いました。
- ・楽しく生きるということが何よりと改めて思いました。歳をとっても前向きな人（お年寄り）が印象的でした。
- ・計画づくりにも土台というものがある。それを強く感じました。
- ・もう少し範囲を広げてたくさんの人と話し合ってほしい。特に気難しい人と…

■これから話し合っていきたいテーマについて（抜粋）

- ・様々な分野の有資格者の協力を存分に得ながら、町民がいろいろな体験はできない物でしょうか…かくれ資格者（インストラクター）とかがきっとたくさんいるはず！！
- ・住民と役場職員が同じテーマで話をするのがポイント。一方的に話を聞いたり、話すのではなく、フランクに話し合う。
- ・友人の作り方。交際範囲が広がらない。結局、札幌へ行き、広がってしまう。
- ・町の活性化、町内消費など。
- ・シェアリングエコノミーについて